

3 個に応じた支援の工夫

(1) 学習過程での支援

学習において児童の反応やつまづきを予測し、その支援や手立てを指導案の中に記述して、学習過程の随所で支援をしている。

自力解決の場面では、抽象的な思考に対して、絵や図、具体物を使った操作などを併用して説明したり、板書や掲示物をもとに解決方法の示唆を与えたりすることで理解を助けている。練習問題をやる段階では、理解の不十分な児童に対しては、スモールステップで取り組める問題や学び直しの類題に取り組むことができるようにし、学習の定着を図るようにしている。また、理解の進んだ児童は、チャレンジ問題や問題づくり、より分かりやすい説明を考えるなどの発展した課題に取り組むことができるようにし、さらなる定着を目指している。

授業全体を通して、意図的な指名などにより、個々の能力に応じて参加し、問題解決に寄与できる学び合いの場をつくることで学習の定着、深化を図ろうとしている。

(2) レディネステストと座席表の活用

新しい単元に入る前に、レディネステストを実施している。これは、単元の学習に必要な基礎・基本の習得ができているかどうかを確認するためである。そして、その結果をもとに授業の中に学び直しの時間を取り入れたり、個への補習をしたりするなどの支援を行っている。

授業研究では、座席表にレディネステストをもとに児童の理解状況や学び合う学習態度などについて予め記入をしておき、活用している。つまづきの予測など児童一人一人の実態が把握できるので、この表をもとにペアやグループを考えたり、児童観察をしたときの評価などを記録したりしながら、指導や評価に反映させている。

【座席表の一例】

本時が（知識・理解）をねらいとしているので、本時までの理解面での形成的評価を記入している。

【座席表】

教 卓

(男児) 理解B 計算のしかたは理解している。しかし、考え方を書く活動になると取っかかりに時間がかかる。	(女児) 理解B- 計算のしかたは理解しているが、考え方をノートに書くことができにくい。思いがあるが表現することができにくい。	(女児) 理解B- 自分の考えに不安があると活動が止まってしまう。しかし、わからないことがあると進んで聞くことができるようになってきている。	(女児) 理解B+ 自分の考えを持ち、図や言葉で考えを書くことができる。また、友だちにも考えを伝えることができる。	(男児) 理解B 計算のしかたを自分なりに考えることができる。しかし、自信をもって全体の場で発表することができにくい。	(女児) 理解B 自分で考える力は持っているが、「正解」にこだわり、不安になると考えることをあきらめてしまう。しかし、発表しようという姿は多く見られる。
(女児) 理解B 自分の考えを持つことができる。自分の考えをペアに伝えたり、全体の場で発表したりすることができる。	(女児) 理解B- 自分の考えに不安があり、なかなか一歩を踏み出すことができにくい。しかし、ペア学習では友だちの考えをしっかりと聞くことができる。	(男児) 理解C 自分の考えを持ちにくい。しかし、図を描いて考えてみようとして努力している。また、ペア学習では友だちの説明をしっかりと聞くことができるようになってきた。	(女児) 理解B+ 自分なりに進んで考えることができる。困っている友だちにやり方を伝えることができる。全体の場でも発表することができる。	(男児) 理解B- 意欲はあるが、困ってしまったり活動が止まってしまったり。しかし、ペアでの学習で伝え合うことを通じて自信を持つようになってきている。	(男児) 理解B 計算のしかたの考えを図や言葉で書くことができない。また、ペア学習では友だちに考えを伝えることができる。

(3) 個の見取りと評価

授業のなかに、練習問題をする時間を設定して形成的評価を行い、個の理解度を見取ることになっている。特に習得に重点をおいた時間では、個の習熟に応じ、練習問題の数も内容もより定着を図るものとなるように作成している。

この他に、単元ごとに数回、授業後に「学びのあしあと」という簡単なアンケートをとっている。これは児童が、学習意欲や学び合いの姿勢を自己評価するものである。この結果は個別指導や授業づくりへの反省材料として活用している。

単元終了後には単元別確認テストを行い、習得・活用の両面での定着度を確認している。このテストの結果は設問ごとに集計をすると同時に通過率を調べ、学び直しをする上での指標として活用している。習得のよくない内容については、朝学習で取り上げたり個別の補習をしたりすることによって理解できるように支援している。また、これらは学年の学習記録としてファイルに集積し、次年度に送り、スパイラルによる学習指導に反映させたいと考えている。

5月31日 学習名(分数のたし算)

学びのあしあと

(5)年()番 名前()

ふりかえること		◎○△
話はいっしょうけんめい聞くことができたか	先生	◎
	友達	◎
自分の考えたことを伝えることができたか	ペア	○
	グループ	△
	全体	◎
ノートやワークシートへ 1・2年・・・ていねいに書けたか		◎
3・4年・・・自分の考えが書けたか		
5・6年・・・自分や友達の考えが書けたか		
分かったか		◎
たのしかったか		○
先生や友達にひとこと みんなと考え方がちがってなるほど!! と思、たよ。		

6月16日 学習名(わりざん)

学びのあしあと

(3)年()番 名前()

ふりかえること		◎○△
話はいっしょうけんめい聞くことができたか	先生	○
	友達	◎
自分の考えたことを伝えることができたか	ペア	◎
	グループ	△
	全体	◎
ノートやワークシートへ 1・2年・・・ていねいに書けたか		◎
3・4年・・・自分の考えが書けたか		
5・6年・・・自分や友達の考えが書けたか		
分かったか		◎
たのしかったか		◎
先生や友達にひとこと ○○さんと○○さんや まえよりすこっとほって、うんが なっていたよ。		

(1年) 学習到達度確認テスト結果(例) 平成22年3月末

月	単元名	目標正答率 (%)	1回目 (%)	備考 (不正解が多い内容)	2回目 (%)
4	① かずのなまえ	H20 85 →	H20 82	・数え間違い ・初めて見る形式では、問題文の意味がとらえられない。 ・どこを見て、どこに書くのか分からない。	
5	② なんばんめ	H20 87 →	H20 76	・基準をもとに数えることができにくい。「~の下には()ひきいる。」 ・「のこったものぜんぶ」の意味がつかめない。	
5	③ いくつといくつ	H21 87 →	H21 74	・カードを選んでいくつといくつを作る問題のやり方が分からない。同じカードを2度使ってしまう。 ・文章題の読み取りが不十分。全く読んでいない児童もいる。	

★ 学年記録(例) 1年 単元名 [1かずのなまえ]

観 点	理 解 ・ 意 味 ・ 表 し 方	知 識 ・ 数 の 意 味 ・ 表 し 方	理 解 ・ 意 味 ・ 表 し 方	理 解 ・ 意 味 ・ 表 し 方	理 解 ・ 意 味 ・ 表 し 方	理 解 ・ 意 味 ・ 表 し 方	理 解 ・ 意 味 ・ 表 し 方	理 解 ・ 意 味 ・ 表 し 方	理 解 ・ 意 味 ・ 表 し 方	理 解 ・ 意 味 ・ 表 し 方	一 回 目	二 回 目
											得 点	得 点
ねらい	① 5までの数の意味・表し方	② 6〜10までの数の意味・表し方	③ 対応操作・10まで	④ 数字でかく	⑤ 5まで数えて	⑧ 1対1対応を	備考	得点 / 8	得点 / 8			
1	0000	x0					記入もれ	7	8			
2	0000			x			文意をとらえていない	7	7			
3	0000							8				
目標正答率 (%)	90	90	80	80						85		
クラス平均 (%)	86	100	100	100						96		